

# BCP-12W

ワイヤレスコンピューター

## BBB

### CE0681

#### 図1 オールクリア

① モードボタン ② 設定ボタン

#### 図a-1 車輪周長の測り方

① 車輪周長の測り方

#### 図a-2 車輪周長一覧表

タイヤサイズ	車輪周長	タイヤサイズ	車輪周長
18インチ	1436mm	ATB26x2.0(50B)	2099
20x1.75	1564	700x20C	2092
20インチ	1566	700x23C	2113
22インチ	1759	700x25C	2124
ATB 24x1.75	1838	700x25C	2136
24インチ	1916	27.2インチ(700x32c)	2155
24x1.38	1942	700x35C	2164
ATB 26x1.40	1995	700x35C	2174
ATB 26x1.50	2030	27.2インチ	2193
ATB 26x1.75	2045	28インチ(700B)	2234
26インチ(650A)	2073	28.6インチ	2281

#### 図b データ設定手順 (621→741)

#### 単位の設定

① 単位を選択 (KMH, MPH, M/MH)

#### 積算走行距離の設定

② 積算走行距離の設定 (ODO)

#### T-RT 合計走行時間の設定

③ 合計走行時間の設定 (T\_RT)

#### 車輪周長の設定

④ 車輪周長の設定 (Wheel Circumference)

#### 時刻の設定

⑤ 時刻の設定 (Time)

#### 図2 走行中

① 速度 (SPD) ② 積算走行距離 (ODO) ③ T-RT ④ 車輪周長 (Wheel Circumference) ⑤ 時刻 (Time)

#### 図3 リセット操作 (AS=0, DS=0, RT=0, MS=0)

① AS=0 ② DS=0 ③ RT=0 ④ MS=0

### 機能

「**SPD**」: 走行速度 0.0~199.9km/hまたは120.0M/h+/-1% (標準)  
 1. 走行中に常に上段に表示されます。199.9km/hまたは120.0M/h (ホイール周長の設定による) のまま表示可能です。  
 2. 停車した時、4秒間速度を測定し、車輪からの信号がないことを確認します。

ODO: 積算走行距離 0.0~99.999.9kmまたはMiles+/-0.1%  
 1. 自転車が走り始める限り積算されます。  
 2. リセットボタンを押せばリセットできます。

RT: 走行時間 OH 00.0s~59M59.9s、1H 00M00s~99H59M59s +/+0.003%  
 T-RT: 合計走行時間 OH 00M~9.999H59M +/+0.003%  
 ⑤: 12時間AM/PMまたは24時間表示  
 1:00:00~12:59:59 AM/PMまたは1:00:00~23:59:59 +/+0.003%  
 現在の時刻は12時間もしくは24時間表示どちらでも可能です。

AS: 平均速度 0.0~199.9km/hまたは0.0~120.0M/h +/-0.1%  
 1. 走行距離を走行距離で割ったものから算出されます。平均速度は最後にリセットしたときから計算までのデータを元に計算されます。  
 2. 走行時間が0.01秒以下になると「0.0」が表示され、4秒経過すると最新の数字が表示されます。

DS: 走行距離 0.00~999.999kmまたはMiles+/-0.1%  
 距離データは最後にリセットから自転車が停止するまで測定されます。

MS: 最高速度 0.0~199.9km/hまたは120.0M/h +/-1%  
 ⑤: 最高速度  
 平均速度より走行速度が速いときに「**SP**」が点滅し、遅いときに「**LS**」が点滅します。

備考: すべてのデータは1秒ごとに更新されます。

### コンピュータ本体設定 (図1)

① モードボタン (M) を押す。 (N: 番号 / M: モードボタン / S: 設定ボタン)

② 設定ボタン (S) を押す。 (N: 番号 / M: モードボタン / S: 設定ボタン)

#### コンピュータの初期化 (オールクリア)

1. モードボタン (M) を設定ボタン (S) を同時に3秒以上押し続け、コンピュータを初期化してすべてのデータを消去します。重要: 誤作動防止のため、初めてお使いになる際には必ずコンピュータを初期化してください。

2. 初期化後、自動的にLCDテストが開始されます。

3. モードボタン (M) を押してLCDテストを終了すると、「K/MH」点滅が始まります。

#### 単位の選択

モードボタン (M) を押してK/MH (km/時間) もしくはM/MH (マイル/時間) を選び、設定ボタン (S) を押して確定します。

#### 積算走行距離と合計走行時間の設定

1. 電池交換後に積算距離と合計走行時間は再入力できるように設計されています。初期にお使いになる際には設定の必要はありません。設定ボタン (S) を1回押すたびに設定データが推測されます。

2. データ設定手順 (621→741): (図b)

a) データは1桁ずつ設定します。全設定している桁を変更できます。  
 b) モードボタン (M) を押して数字を1つずつ増やします。  
 c) 設定する桁を変更するにはモードボタン (M) を2回以上押し続けます。  
 d) 設定ボタン (S) を押して数字を確認し、次の設定に進みます。

#### 車輪周長の設定

1. 初期設定では周長2.155mmを意味する「2155」が表示されます。車輪周長を測定するか、下記の早見表から選択してください。  
 2. データ設定手順 (図b) に従って、数値を変更してください。

3. 車輪周長

a) 正確な測定 (図a-1)  
 (1) ハンドルを車輪の一番低い位置に押しつけた後、地面に印を付けます。自転車を乗り、ハンドルを再び同じ位置に来るまで押して見ます。地面に印を付け、印間の距離を測ります。測定した車輪周長を入力します。  
 b) 早見表 (図a-2): 早見表から正確な数値を探します。

#### 時刻の設定

1. 時刻設定画面では、「**SP**」マークが表示されます。  
 2. 12時間表示もしくは24時間表示が選べます。  
 モードボタン (M) を押して、12時間表示または24時間表示を選びます。モードボタン (M) を2秒以上押し続けて時刻設定画面に入ります。  
 データ設定手順に従って、時刻を設定します。(図c)

### ボタン操作

モードボタン (M) (図2)  
 1. 押すたびに、基本機能画面から次の機能画面に順番に切り替わります。  
 2. 合計走行時間と積算走行距離は走行中は表示されません。

設定ボタン (S) (図2)  
 現在の時間や車輪周長などの再設定をしたときに押す。設定したい画面に移動できます。

リセット操作 (図3)  
 1. LCD画面表示しなくなるまでモードボタン (M) を押し続けると、走行距離、最高速度、平均速度、走行時間をリセットでき、保存しているデータは消去されます。  
 2. 積算走行距離と合計走行時間、時刻はリセットされません。

#### コンピュータ本体「スライド」の解除スイッチ

コンピュータは「スライドオン/オフ」解除スイッチ (特許出願中) を持ち、プラケットに切り付けられたときにその影響を受けないように設計されています。プラケットのロック解除と同時に自動的に解除されます。

#### オートスタート/ストップと電源のオートオフ

走行中、コンピュータは自動的に電源を制御し、停止すると電源も停止します。「**SP**」ロゴが点滅しているときは起動中です。電源再始動を妨げず、30分使用がなかったときには自動的に表示は消え、時刻の表示がなくなります。電源はモードボタン (M) を押すことで戻ります。

#### 車輪周長と時刻のリセット (図4)

1. モードボタン (M) を押して以下のいずれかを表示させます。  
 a) 積算走行距離画面 (車輪周長を変更できます)  
 b) マークの点滅している画面で数値を変更できます。  
 2. 設定ボタン (S) を押して確認設定画面に移動します。  
 3. データ設定手順に従って、数値を変更してください。(図b)  
 4. 設定ボタン (S) を押して確認し、設定を終了してください。

#### コンピュータ本体の電池交換

① 「**SP**」マークが表示されたら電池はほとんど消耗しています。  
 ② マーク表示後、3日以内に新しい電池と交換してください。  
 ③ 電池交換をするとき、すべてのデータが消去されますが、積算走行距離と合計走行時間は記憶されています。電池交換前に設定確認してください。  
 ④ 新しいCR2032電池と交換し、コンピュータ本体の初期設定をしてください。(図1)

#### 安全上の注意

1. 自転車を修理していないときはコンピュータ本体を直射日光にさらさないでください。  
 2. コンピュータ本体がけいれんや損傷を受けたりしないでください。  
 3. センサーとマグネットの位置関係を定期的に確認してください。  
 4. センサー、アルゴリズム、ペダルなどで本体がけいれんや損傷を受けたりしないでください。  
 5. 自転車走行中に電圧の低下を避けてください。

### 問題点のチェックと解決方法

問題	確認事項	解決方法
表示されない	1. 電池は交換してありますか? 2. 電池は正しく取り付けられていますか?	1. 電池を交換してください。 2. 電池の(+)極がバッテリーカバーに正しく向きを確保して取り付けられていますか?
走行距離が異常なく表示されない	1. コンピュータ本体もしくは他の設定画面に切り替えていますか? 2. センサーとマグネットの位置関係を確認していますか? 3. 車輪周長を正しく設定されていますか? 4. 設定ボタン (S) を押し続けて、コンピュータ本体のセンサーの角度と距離を調整してください。 5. 新しい電池と交換していませんか? 6. 強い電磁波が近くにありますか?	1. 設定画面の調整をしてみてください。 2. 図1-1を確認し、正しい位置に再度調整してください。 3. 「車輪周長の設定」を確認し正しい位置関係を確認してください。 4. 設定ボタン (S) を押し続けて、コンピュータ本体のセンサーの角度と距離を調整してください。 5. 新しい電池と交換してください。 6. 影響を受けたりはするものから離れさせてください。
異常な数値が表示される	1. コンピュータ本体を修理していない時に直射日光にさらしていませんか? 2. 強い電磁波が近くにありますか?	コンピュータ本体の修理を依頼してコンピュータを初期化してください。 コンピュータ本体を修理してください。データに影響はありません。
時刻が正しく表示されない	1. 時刻設定画面に入っていますか? 2. 時刻設定ボタン (M) を押し続けていますか?	時刻設定画面に入ってください。 時刻設定ボタン (M) を押し続けてください。

ワイヤレス送信機: 東京青島無線機3-18-34 池袋スタジオ102 TEL: 03-5565-9008 FAX: 03-5565-9008  
 株式会社ワイヤレスシステム 池袋スタジオ102 TEL: 03-5565-9008 FAX: 03-5565-9008

# BBB Wireless

## ワイヤレスの取り付け方法

### A) 付属品概要

① 接着保護テープ  
 ② ブラケット基盤  
 ③ プラケット  
 ④ トランスミッター基盤  
 ⑤ トランスミッターアーム  
 ⑥ トランスミッター  
 ⑦ スピードトランスミッター  
 ⑧ 受信ポイント  
 ⑨ ボルト  
 ⑩ ナット  
 ⑪ マグネット  
 ⑫ マグネットキャップ  
 ⑬ タイラップ  
 ⑭ 1.5V電池 (LR44)

### B) ブラケットの取り付け

B-a. 90° 傾角のブラケット基盤②で、ステム (B-a.) またはハンドルバー (B-b.) どちらでも取り付け可能です。  
 2. タイラップはコンピュータ本体を取りはずしたときにキズがつかないように余分な部分は切ってください。

B-b. 90° 傾角のブラケット基盤②で、ステム (B-a.) またはハンドルバー (B-b.) どちらでも取り付け可能です。  
 2. タイラップはコンピュータ本体を取りはずしたときにキズがつかないように余分な部分は切ってください。

### C) スピードトランスミッターの取り付け

1. スピードトランスミッターの取り付け方法は3種類あります。フォークの形状にあわせて図1、2、3から適当な方法を取り付けてください。  
 2. ライトタイプスピードトランスミッターを右フロントフォークに取り付けます。  
 3. マグネットを前車輪のスポークに取り付け、表面が受信ポイントを向くようにしてください。  
 4. コンピュータ本体とスピードトランスミッターの位置関係を確認してください。

スピードトランスミッターの矢印はコンピュータ本体を向いていない場合は、ワイヤレス能力がより発揮するため、できるだけコンピュータ本体を向くようにしてください。スピードトランスミッターを取り付ける際の取り付け角度は、45cm以内のスピードトランスミッターを取り付ける必要があります。矢印の向きは向いていませんが、常に上向きにしてください。

5. すべての部品を確認し、走り始める準備をしてください。

#### スピードトランスミッターとマグネットの取り付け

1. 自転車を修理していないときはコンピュータ本体を直射日光にさらさないでください。  
 2. コンピュータ本体がけいれんや損傷を受けたりしないでください。  
 3. センサーとマグネットの位置関係を定期的に確認してください。  
 4. センサー、アルゴリズム、ペダルなどで本体がけいれんや損傷を受けたりしないでください。  
 5. 自転車走行中に電圧の低下を避けてください。

#### ワイヤレスシステムパフォーマンス

1. スピードトランスミッターは車輪の回転数をコンピュータ本体にワイヤレスで伝送します。受信の妨げを受ける他のワイヤレスシステムと干渉する可能性があります。受信機は50cm以内の範囲で動作します。  
 2. レシーバーは他の影響を受けずに、正しい方向と角度から信号を受け取れます。スピードトランスミッターの向きはコンピュータ本体に向って+15°の範囲で取り付けてください。  
 3. レシーバーはトランスミッターがレシーバーより近ければより強い信号を受け取ることができます。より強い受信能力はまたより強い電磁波があるため、スピードトランスミッターの電圧寿命を伸ばします。ワイヤレスシステムには、スピードトランスミッターをコンピュータ本体からなるべく近く、45cm以内に取り付けてください。

#### 安全上の注意

2. コンピュータ本体は同様のワイヤレスシステムと干渉する可能性があります。  
 3. コンピュータ本体は「スライドオン/オフ」解除スイッチでプラケットからコンピュータ本体をスライドして解除してください。  
 a) コンピュータ本体の消耗を減らし、電池寿命を伸ばすためだけでなく、屋内に入ったときに電磁波の影響 (パソコンや携帯電話) を受けたくないようこのように設計されています。  
 b) スピードトランスミッターの電圧がほとんど消耗したときに知らせます。車輪からの信号伝達力が弱まり、コンピュータ本体の表示データが安定しなくなります。  
 c) 交換する新しいLR44は(+) 側がスピードトランスミッターのキャップ側にあることを確認してください。

### D) コンピュータ本体取り付け

1. プラケットにコンピュータ本体をさすまでスライドさせて設置します。  
 2. プラケットはロックレバーで走行中はずれないようにコンピュータ本体を固定します。  
 3. 図1参照。  
 4. 図2参照は、プラケットのロックレバーを押してコンピュータ本体を閉じらせます。

このロックレバーを下から押して、コンピュータ本体を閉じらせます。  
 プラケット  
 ラバー